

たかまつ市議会 レポート

秋

号

令和元年
9月定例会

令和元(2019)年
10月15日 発行
(第193号)

高松市生徒みらい議会

8月26日に、高松市議会の議場で生徒みらい議会が開催され、熱心な議論が繰り広げられました。

この議会は、高松第一高等学校及び市立中学校の生徒の代表が、市議会の仕組みを知り、市政への理解や地域への関心を持つとともに、よりよいまちづくりに主体的にかかわる意欲を育むことを目的として、毎年実施しています。

高松市生徒みらい議会

目次

代表質問・質疑…2～4

一般質問…5～7

情報BOXほか…8

令和元年第4回高松市議会定例会は、9月4日から9月20日までの17日間の日程で開かれました。

【今定例会に提出された議案等】

- ・市長提出議案 35件
- ・議員提出議案 5件
- ・陳 情 1件

代表質問

各会派を代表して、4人の議員が質問しました。

質問者

質問の主な内容

自民党議員会

神内茂樹

政治姿勢、行財政、まちづくり、防災、文化・観光、福祉、教育

公明党

大山高子

行財政、防災、がん対策、障害者支援、生活困窮者支援、子育て支援、教育、選挙、病院

市民フォーラム21

造田正彦

農業、農福連携、道の駅、多世代交流、広報紙

同志会

三笠輝彦

政治姿勢、行財政、まちづくり、観光、環境、福祉、教育

まちづくり

幹線道路沿道の店舗規模面積規制強化案の見直し

問 特定用途制限地域の幹線道路沿道における店舗規模面積に係る規制強化案の見直しに向けた検討状況と、今後のスケジュールは。

【自民党】
【議員会】

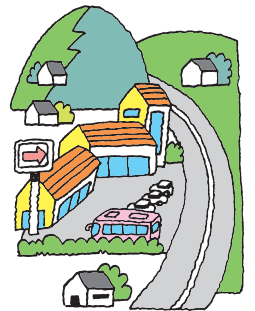
答 県や関係町との広域的観点による協議が整うまでの間、片側2車線以上の主要幹線道路沿道の店舗規模面積は、現行の3千㎡までに据え置く。

片側2車線未満の面積の見直しは、来年7月下旬から運用開始予定の居住誘導区域外における住居系開発行為に係る区域外道路要件の強化と同時期の施行を目指す。

道の駅を生かした居住誘導区域外での地域拠点づくり

問 居住誘導区域外のまちづくりの地域拠点施設として、新たな雇用創出、周辺住民との交流や防災など、さまざまな効果が期待できる道の駅を整備する考えは。

【市フォーラム21】



答 居住誘導区域外の地域については、集約拠点等と活発に交流できる、暮らしやすいまちを目指しており、地域の課題を解決できる手法として、道の駅を生かした地域拠点づくりの可能性を探索。

増加が見込まれる外国人住民へのサポート充実

問 一時的な滞在ではなく、生活者としての外国人への日常的なサポートを充実するため、庁内横断的な組織を設置する考えは。

【同志会】

答 東南アジアを初めとした外国人労働者の増加に伴い、本市でも外国人住民からの相談やニーズの多様化が想定される。

今後、他都市の取り組み状況も参考にしながら、庁内で統制のとれた多文化共生施策の展開手法などを研究する。

夜型観光充実に向けた取り組み

問 夜型観光イベントの充実と継続実施に向け、事業者への支援など、観光消費額の拡大が期待できる夜型観光の振興に積極的に取り組む考えは。

【自民党】
【議員会】

観光客が泊まりたくなるような独自性のある夜型観光を充実させる考えは。

【同志会】



玉藻公園のライトアップ

答 玉藻公園の無料開放・ライトアップや、屋島山上でのイベント開催のほか、県と共催で瀬戸内サマーナイトフェスティバルを実施するなど、夜間のにぎわい創出を図っている。

今後、地元企業と連携した新たな夜型コンテンツの企画・実施の検討など、

行財政

市税等の収納率向上のためのさらなる取り組み

問 携帯電話のショートメッセージサービスの活用や、外国人向けしおりの作成など、市税等の収納率を向上させる考えは。

【公明党】

収納対策の取り組み結果に対する所見と、市税等の収納率向上のための今後の取り組みは。

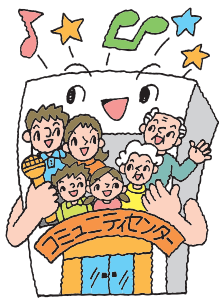
【同志会】

答 口座振替やコンビニ収納の促進、納税案内センターによる市税滞納者への納付勧奨の実施などにより、着実に収納率は改善されている。

本年4月からは、スマートフォン収納を開始し、来年度から、納税案内センターによる納付勧奨を拡充する。

今後、他都市の先進事例等の導入可能性の検討や、債権回収室による継続的な助言・指導等により、さらなる収納率向上に取り組む。

【答】指定管理者である地域コミュニティ協議会が企画



【問】地域住民の多世代交流の拠点として、コミュニティセンターをさらに活用する考えは。

【市・民】

多世代交流拠点としてのコミュニティセンターの活用

【答】市民と行政、地域団体との双方の提供・共有に向け、登録した市民の属性に応じたイベント情報の発信のほか、自治会など任意グループ内での情報共有も可能となるICTを活用した新たなツールの導入を目指す。

【問】市政情報の発信だけでなく、自治会など地域団体も活用できる、新たな情報交換発信ツールの導入に向けた今後の取り組みは。

【市民会】

地域団体も活用できる、新たな情報交換発信ツールの導入



文化

高松城天守復元に向けた取り組み

【答】熊本地震における被災地での混乱を受け、国では、受援体制に関するガイドラインを策定し、応援の受け入れを想定した体制整備の促進を図っている。

【問】大規模災害時に支援物資や人材を効率的に受け入れるための計画策定

【答】熊本地震における被災地での混乱を受け、国では、受援体制に関するガイドラインを策定し、応援の受け入れを想定した体制整備の促進を図っている。

【謝辞】

するイベントなどを同センターで実施することにより、子供から高齢者まで幅広い地域住民が触れ合うことで交流が深まり、着実に地域活動の輪が広がっている。今後とも、地域特性を生かし、住民ニーズに応えられる施設として、さらなる多世代交流につながるよう取り組む。

【問】開館15周年を迎えたサンポートホール高松のこれまでの成果と、改修に伴うホールの休館見込みは。

【市民会】

開館15周年を迎えたサンポートホール高松の成果と改修見通し

【答】国の取りまとめでは、資料が十分ではない歴史的建造物の復元的整備について、基準を設けた上で許容する方向性が示され、復元の可能性が見えてきたと認識しているが、現時点では文化審議会の正式決定ではなく、基準等も示されていないことから、取りまとめの内容を踏まえ諸課題を検討していく。

天守復元は、観光を初め、本市の活性化を図る上でもさまざまな波及効果が期待できることから、重ねて要望等を行うなど、取り組みをより一層進める。

【問】文化庁のワーキンググループの取りまとめを踏まえ、高松城天守復元に向けた取り組みは。

【市民会】

【答】市民文化祭のほか、国際ピアノコンクールや国際



農業

農業振興の今後の展開

【問】本市農業の現状と課題を踏まえて策定された高松市農業振興計画に基づく、これまでの取り組みと今後の展開は。

【市・民】



サンポートホール高松 大ホール

会議などの会場として、文化芸術の振興はもとより、交流人口の拡大、シティ・ブランドの確立に大きな成果を挙げている。現在、ホール舞台設備等に経年劣化による不具合が発生しており、令和4年度から約2年間、施設全体を休館しての改修を検討している。

【答】同計画に基づく施策の推進に当たり、農業従事者の



福祉

地域ぐるみで子供を見守るための対策

【答】国連の持続可能な開発目標に貢献するとともに、全ての人が地域で暮らし、生きがいと共に育つ地域共生社会の実現に資する取り組みであり、今後、農業者・障害者等、双方のニーズを的確に把握しながら、関係団体に対して積極的に働きかけるなど、農福連携の促進に努める。

【問】農業従事者の確保や、障害者と地域との交流の機会を生むほか、農業と福祉、双方の課題解決や利益につながる、農福連携に取り組む考えは。

【市・民】

農福連携の推進

の高齢化や後継者不足が大きな課題となる中、新規就農者の確保や認定農業者等が必要とする機械・施設への助成、農地集積・集約の促進に取り組んできた。今後、これらの対策を一層進め、現場のニーズを的確に把握しながら、きめ細やかに支援していく。

【問】保育所等周辺へのキッズゾーンの設置や、子供を見守るキッズガードの配置により、地域での見守り活動を強化する考えは。

【議員会】

【答】現在、各保育所等から報告のあった118の危険箇所について、道路管理者や所轄警察署と連携して現地で緊急安全点検を実施している。

今後、その結果を踏まえ、必要な対策を講じるとともに、国の制度設計等の状況も踏まえ、地域ぐるみで子供を見守るための対策を検討する。



がん患者の治療に伴う外見の変化に対する支援のあり方

【問】がん患者の社会参加応援事業として、治療に伴う脱毛や肌色の変化等、外見の変化へのサポートを行う考えは。

【公明党】

【答】2人に1人が、がんに罹患する時代に、国では、

がん患者のさらなる生活の質の向上を目指し、治療に伴う外見の変化等に関する相談対応等の検討を行うこととしており、その動向を注視するとともに、他都市の状況も調査し、本市における支援のあり方を検討する。

聴覚障害者への合理的配慮を図る手法

【問】手話で翻訳した動画が閲覧できるQRコードを、ガイドブックやチラシ等に張りつけるなど、聴覚障害者への合理的配慮を図る考えは。

【公明党】

【答】手話を言語とする聴覚障害者の中には、日本語の理解が困難な方もいるため、手話動画から情報が得られる取り組みは、安心した社会生活を送る上で意義がある。

今後、合理的配慮を図るために、新たにガイドブック等を作成する際には、他都市の事例も参考にしながら検討する。

教育

授業のユニバーサルデザイン化への取り組み

【問】障害の有無にかかわらず、全ての児童生徒がわかる、できるを目指した、授業のユニバーサルデザイン化の現状と、今後の取り組みは。

【議員会】

【答】本市の教育指針にも明記し、その充実に努めており、教員を対象とした研修会の開催や、日々の授業改善に役立つ情報提供のほか、各学校では、合理的配慮の工夫にも取り組んでいる。

今後、全ての教員が理念を理解できるよう指導するとともに、ICT機器も活用し、より一層推進する。

視覚障害者等のニーズに沿った読書環境の整備推進

【問】視覚障害者等の読書環境の整備に関する法律（読書バリアフリー法）成立の受けとめと、今後の取り組みは。

【公明党】



中央図書館の拡大読書器

【答】同法は、障害の有無にかかわらず全ての方が等しく読書を通じて、文字活字文化の恩恵を受けられる社会の実現に寄与するものである。

今後、国が策定する基本計画を踏まえ、視覚障害者等のニーズに沿った施策を推進しながら、自治体の努力義務とされた基本計画の策定を検討する。

選挙

将来の有権者への有効な選挙啓発

【問】18・19歳の投票率が低迷する中、教育委員会と連携し、選挙人が子供を同伴して投票所に行くよう取り組みを考へる。

【公明党】

【答】将来の有権者となる子供に、身近で選挙の重要性を感じてもらうことは、有効な啓発と考える。

改めて、選挙制度の趣旨をホームページ等で周知するほか、学校現場を通じた児童生徒への働きかけの手法等について、教育委員会と相談しながら検討する。

質疑

今定例会に提出された議案について、2人の議員が質疑しました。

藤沢やよい
(日本共産党)

保育所副食費の無償化

【質】10月から開始の幼児教育無償化に伴い新たに徴収する保育所の副食費について、市独自で無償化する考えは。

【答】国の基準や経過措置による免除は実施するものの、幼稚園を利用する子供の副食費は実費徴収であり、公平性や財源の面から、一律に無償化する考えはない。

【他】教育ICT、行財政改革、水環境

植田真紀
(市民派改革ネット)

自治体ポイント

【質】実証実験開始から1年半以上が経過しても、ほとんど利用されていない自治体ポイント事業を、継続する必要性はあるのか。

【答】認知度不足やマイナンバーカードの交付率が十分でなく、所期の効果は得られていない。

今後、自治体ポイントの新たな活用方法の導入等を検討した上で、事業の方向性を決定する。

【他】幼児教育無償化、債権放棄

市政の、さまざまな課題について、21人の議員が質問しました。

国土強靱化地域計画の策定



井上孝志
(自民党議員会)

【問】国が策定した国土強靱化基本計画への認識と、本市で地域計画を早急に策定する考えは。

【答】大規模自然災害に強い国土をつくる上で大変重要な地域計画の策定が、国の交付金等の要件とされたことを受けて、同計画策定を引き続き検討する。

【他】財源確保、市町合併、ジビエ



ひきこもり対策



春田敬司
(公明党)

【問】ひきこもり対策を、総合計画の独立した施策に引き上げ、居場所への支援などを強化する考えは。



【答】ひきこもりの方への支援は喫緊の課題であり、真に効果のある取り組みを早期に検討し、重点的・積極的に実施する。

地域共生社会の実現のため、重要な柱となる対策であり、施策体系における位置づけの見直しも視野に入れる。

【他】市民との協働、学校図書館

行政窓口のICT化



富野和憲
(市民フォーラム21)

【問】手書きの届出書類が主となっている、行政窓口のICT化の今後の見通しは。



【答】ICT活用による窓口業務の効率化等を推進するため、マイナンバーカード

を利用した申請書の自動作成等を調査研究している。今後、国の動向やICT技術等の進展も踏まえ、窓口サービスの向上や業務の効率化を図る。

【他】暑さ対策、指定管理者制度、入札不調



北谷悌邦
(同志会)

JR鬼無駅の利用環境向上

【問】外国人旅行者が多く訪れ、近隣学校の生徒も利用するJR鬼無駅のトイレの水洗・バリアフリー化など、利用環境向上に取り組む考えは。



【答】西部北地域 주요 駅である同駅の利用促進や、公共交通の利用促進や、観光客の受け入れ環境充実の観点からも必要のため、駅施設のバリアフリー化の支援や、JR四国への働きかけを行う。

【他】放課後児童クラブ、交通安全サービス、防災拠点の電源

平和記念館の活用



岡田まなみ
(日本共産党)

【問】アジア・太平洋戦争での被害と加害の歴史を後世に伝える平和記念館のさらなる活用方策は。



【答】戦争は最大の人権侵害であり、二度と繰り返してはならないものである。今後、関係団体の協力を得ながら、語り部による講演に加え、映像も用いて戦争体験者の声や戦禍の状況等を伝えていく。

【他】旧高松テルサ、児童扶養手当

困りごとの実態調査



太田安由美
(市民派改革ネット)

【問】高松圏域自立支援協議会ことも部会で、日常生活における困りごとの実態調査を行う考えは。

【答】同協議会の身体障害者支援部会での実態調査は、

個々のニーズ把握から支援の方向性を見出すことにつながったと聞いており、今後の政策や体制に生かせるよう、ことも部会に対して調査の実施を働きかける。

【他】障害者福祉施設での虐待



香川洋二
(無所属)

災害時の職員安否確認

【問】職員参集メールを活用して、災害時の職員安否確認を行えるよう、登録率を100%にする考えは。

【答】現在の登録率は47%と低い状況にある。大規模災害時の全職員の安否確認は、この参集メールを活用するため、今後、登録率100%に向け、積極的

に取り組む。

【他】多文化共生、プログラミング教育



若者のUターン促進



藤原正雄
(自民党議員会)

問 若者のUターン促進に向けた今後の取り組みは。



答 本市の魅力や地元企業の認知度の低さが、若者の首都圏等への転出の要因の一つと考えられるため、高松で暮らしたいと思っても

さを知ってもらおうセミナー開催や、企業誘致による働く場の確保など、Uターンに結びつく取り組みを積極的に推進する。

他 地域公共交通、ホームページ、公用車、訪日客、教育



大見昌弘
(自民党議員会)

在宅医療・介護連携体制

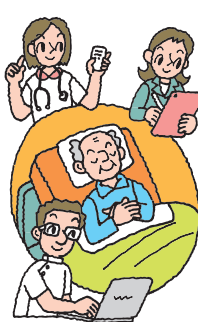
問 在宅医療・介護連携推進事業の取り組み状況と、

ICTを活用した多職種連携のための患者情報の共有システムに対する考えは。

答 医師や看護師・介護支援専門員など多職種が、入院退院時に情報交換できるルールづくりや、スマートフォンなどを活用した情報把握・共有の課題などを検証

しており、今後も、在宅医療と介護が一体的に提供できる体制の整備に積極的に取り組む。

他 防災、病院事業



田井久留美
(公明党)

投票支援制度

問 障害者等への投票所での支援制度を学ぶことができるDVDを制作するなど、市民の理解を深めるための今後の取り組みは。

答 同制度について、ホームページや特別支援学校での出前授業等を通じて周知に努めるとともに、関係団

体の意見や他都市の優良事例を参考に、効果的な方法等を検討する。

他 動物愛護、後見人、MICE誘致



中西俊介
(市民フォーラム21)

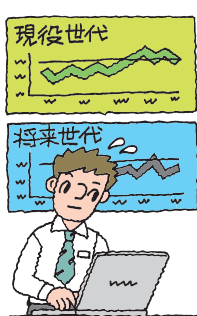
財政健全化

問 財務書類に基づく、現役と将来の世代負担の公正や、資産・負債等のバランスの受けとめと、今後のあり方は。

答 他自治体との比較が可能となった新たな指標で、平成28年度決算を他の中核市と比較すると、相対的に厳しい状況にある。

今後、財務書類を有効活用し、将来世代の負担軽減につながるよう取り組む。

他 選挙、共生社会の実現



成長期の女性の健康管理



天雲千恵美
(同志会)

問 中学校の運動部活動における正常な月経周期など、女性特有の健康管理上の課題への対応は。

答 過度な練習が生徒の心身のバランスのとれた発達を妨げないよう、今後、養護教諭への研修とともに、運動部活動顧問会でも意識づけを行い、学校での相談体制の充実を図る。

他 伝統的ものづくり、ネット・ゲーム依存



藤沢やよい
(日本共産党)

居住誘導区域外の浸水対策

問 居住誘導区域外における、浸水対策を早急に進める考えは。

答 本年5月、庁内にプロジェクトチームを立ち上げ、

水路の溢水対応への仕組みづくり等の検討を進めている。

今後、地域の実状に応じた対策を推進し、浸水地域の軽減・解消に努める。

他 健診の充実



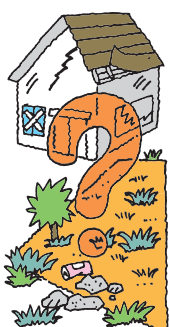
坂下且人
(自民党議員会)

所有者不明土地

問 所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法の全面施行を受け、所有者不明土地を有効活用する考えは。

答 土地収用手続きに要する期間短縮など、国の新たな支援制度を効果的に用い、円滑な公共事業等の推進とともに、都市構造の集約化の観点からも、所有者不明土地の有効活用につなげる。

他 教育、防災、観光



指定難病への支援拡充

問 網膜色素変性症により暗所で物が見えにくくなる方等への支援として、夜で



中村秀三
(公明党)

他 空き家、北消防署、自転車等駐車場、選挙

答 一般利用者への配慮から、現在は閲覧席での自習は自粛をお願いしているが、市民の学びの場づくりなどの観点から、当面、席数の多い中央図書館の閲覧席での利用や、夏休み期間中等も含め、年間を通じ安定的に運営できる体制、ルールづくりを検討する。



問 図書館における学生の自習スペース確保に向けた今後の対策は。

図書館の自習スペース確保



杉本勝利
(自民党議員会)

答 核兵器のない世界を実現する上で、大変意義深く、唯一の被爆国である日本が、核保有国と非核保有国との橋渡しとなり、核兵器のない世界が実現することを期



問 核兵器禁止条約に対する考えは。

核兵器禁止条約



吉峰幸夫
(市民フォーラム21)



答 同眼鏡は有効な器具と考えるが、新しく、日常生活用具に認定している自治体も少ないため、今後、他都市の導入状況等を見きわめる中で調査研究する。

も昼のように見える特殊眼鏡を、日常生活用具給付等事業の対象とする考えは。

市道2路線の供用開始



辻 正彦
(自民党議員会)



他 地域住民との協働、多文化共生、伝統的ものづくり、警戒区域解消、スポーツ

答 さまざまな機会を捉えた啓発や、しつぽの森を最大限に活用した譲渡推進とともに、一時保管施設の早期整備に向けた検討を進めるなど、殺処分減少に鋭意取り組む。

問 今年3月の、さぬき動物愛護センター「しつぽの森」の供用開始を踏まえ、犬猫の殺処分減少に向けた取り組みは。

犬猫の殺処分減少



斉藤 修
(自民党議員会)

待する。
他 会計年度任用職員、農業、全国学力テスト、教職員の働き方改革、選挙

答 生活支援コーディネーターの配置や担い手の養成研修、交流会の開催など、同会議の支援体制の充実を

策は。

問 住民主体の地域福祉ネットワーク会議への支援を充実し、潜在的な介護支援担当者等を見つけ出す方

自立支援・介護予防



住谷篤志
(自民党議員会)



答 橋梁工事は、おおむね完了したものの、周辺交通への影響を考慮して、両路線を同時に供用できるよう一体的に整備を進めており、現時点での供用開始時期は示せないが、早期の全線開通を目指す。

問 市道下川原北線・城渡吉光線の供用開始がおくれている理由と今後の予定は。



答 これまで実施している仕事と家庭の両立等への取り組みに加え、仕事に対するやりがいと向上心を持てるような人事配置にも努め、女性職員の昇任試験受験率の向上を図る。

問 女性職員の管理職・係長級昇任試験受験率向上に向けた今後の取り組みは。

女性職員の登用



西岡章夫
(自民党議員会)



図っている。
各地区での周知啓発や、地域での潜在的な対象者への声かけ等が住民主体のサービス利用につながる。

賛否が分かれた議案等審議結果一覧

今定例会では審議の結果、議案等のうち15件について、採決に当たり次のとおり賛否が分かれました。賛否については、賛成の場合は○を、反対の場合は×を表示しております。

件名	議決結果等	会派別賛否						
		自民党 議員会	公明党	市民 フォーラム21	同志会	日本 共産党	市民派 改革ネット	無所属
市長提出 議案	令和元年度高松市一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	×	×	○
	高松市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	×	×	○
	高松市幼保連携型認定こども園条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	○
	高松市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	×	×	○
	高松市持続可能な水環境の形成に関する条例及び高松市環境審議会条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	○
	高松市建築基準法施行条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	○
	高松市建築関係手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	○
	高松市特定用途制限地域内における建築物等の制限に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	○
	高松市地区計画の区域内における建築物の制限等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	○
議員提出 議案	高松市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	×	○	○	×	○	○	×
	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書	×	○	○	○	○	×	○
	2019年10月の消費税増税中止を求める意見書	×	×	○	×	○	○	×
	LGBT／SOGIに関する差別のない社会環境整備を求める意見書	×	○	○	×	○	○	×
	柔軟仕上り剤等家庭用品に含まれる香料の成分表示や法規制の検討等を求める意見書	×	×	○	×	○	○	×
陳情	社会保障制度の拡充を求める陳情	×	×	×	×	○	×	×

※ 全議案等の審議結果については、市議会ホームページをご覧ください。

情報BOX

人事案件

教育委員会委員1名の任命、固定資産評価審査委員会委員1名の選任、人権擁護委員候補者9名の推薦にそれぞれ同意しました。

委員会の活動など

●議会運営委員会

7月18日、8月2・30日、9月13日に、議会運営の改善等について協議しました。

●決算審査特別委員会

平成30年度の決算を審査するため、議員37人からなる、特別委員会を設置しました。

市民との意見交換会の開催について

市政に関する4つのテーマについて、議員と一緒に考えてみませんか。

【日時・場所】

11月19日（火）13時30分～15時
市役所13階 大会議室



【テーマ】

- ① ICTを活用したまちづくり
- ② 不登校を生まないための学校と地域のつながり
- ③ 就職時に地元へ帰れる働く場の確保
- ④ 雨に強いまちをつくるためのソフト対策

●お問い合わせ先：議事課（TEL839-2808）

議場における防災訓練

高松市議会では、初めての試みとなる議場における防災訓練を9月定例会開会日の本会議散会后、「防災シミュレーション」や「災害時における執行部と市議会の対応の確認」の2部構成で訓練を行いました。

